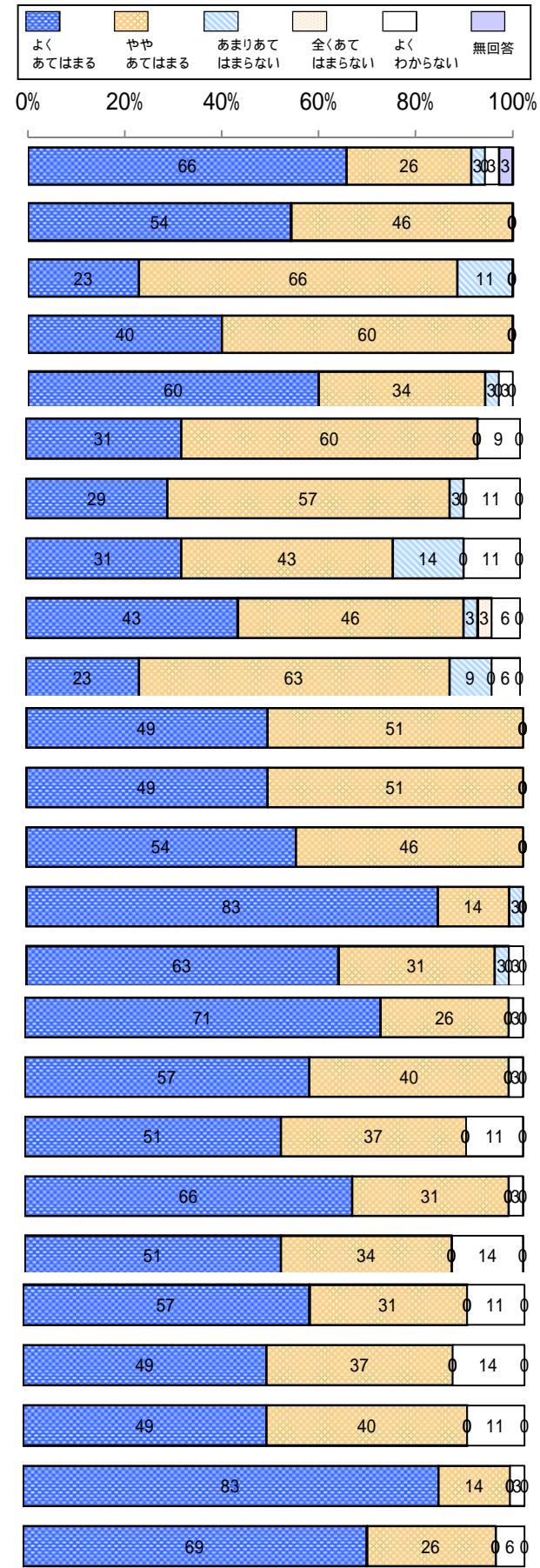


アンケートの結果			上段：生徒 下段：保護者等 グラフ：教職員					
			A	B	C	D	よく分らない	無答
学校全体の様子	1	教育目標・方針	68	27	2	1	2	0
	2	児童・生徒の様子	72	24	3	1	1	0
	3	基本的な生活習慣	58	35	5	0	1	1
	4	児童・生徒理解	49	38	8	2	2	0
	5	健康・安全・安心	67	28	3	0	2	0
学力向上の取組	6	分かる授業	44	44	8	2	2	0
	7	個に応じた指導	45	39	10	2	3	1
	8	学習習慣	27	36	27	7	3	0
	9	情報教育	52	37	9	0	1	0
	10	学校図書館の活用	22	42	28	5	3	0
社会性・人間性の育成	11	人権教育	60	33	5	0	3	0
	12	道徳教育	42	43	9	1	5	0
	13	教育相談	30	33	19	7	9	0
	14	人間関係づくり	69	22	5	1	3	0
	15	自治的な活動	55	34	5	1	6	0
保護者・地域との連携	16	情報発信	51	28	4	1	15	0
	17	相談への対応	45	35	5	2	14	0
	18	学校への参加	36	30	5	2	27	0
	19	地域との連携	47	30	14	5	5	0
	20	意見の反映	50	35	3	1	11	0
各学校の特色ある教育	21	基礎・基本の徹底	61	29	5	2	4	0
	22	授業評価の活用	52	34	5	1	9	0
	23	進路指導の充実	50	35	7	1	6	1
	24	地域学習	51	34	10	1	3	0
	25	JRC活動	49	31	11	1	7	0

無効票を除く(%)



無効票を除く(%)

学校の自己評価（考察）

教育目標の「たくましい人」が確実に定着している。教育活動のあらゆる場面で、笑顔を絶やさないたくましい生徒の育成を進めていきたい。

生徒・保護者とも肯定感高く健全な学校生活を送れていると思われる。ごく少数の生徒・保護者を見逃すことなく、指導・支援を続けたい。

生徒自身の評価は高く、校内の規律はほぼ目標を達成できているが、特に保護者のさらなる期待に応えるべく、日々の指導を徹底したい。

生徒を励まし支援していることが評価されている。少数ではあるが、不十分と感じている生徒を見逃すことなくさらなる生徒理解に努めたい。

毎月の避難訓練・安全指導に加え、レスキュー部の活動も成果をあげている。新型コロナウイルス対策も一定の評価を受けていると思われる。

今年度は授業公開の機会がなかったため保護者の「わからない」の回答が多い。来年度は、授業のようすを知ってもらえる方法を工夫する。

一定の成果をあげてはいるが、今後はタブレットPCを活用したコンテンツの利用を進め、個々の生徒の理解度に応じた指導を工夫する。

家庭学習の充実を目指し、タブレットPCを活用した自宅での学習課題を提示できるよう準備を進めている。家庭と協力し推進していく。

各教科等での電子黒板の活用はかなり定着している。今後はタブレットPCの授業・家庭でのさらなる有効活用を目指して準備中である。

読書活動での図書館活用は浸透している。今年度は感染症防止のため授業での活用が難しかったが来年度は工夫してさらなる活用をすすめる。

今後も教育活動全般において人権感覚を育てていくとともに、いじめ等の早期発見やそれに対処するシステムを強固にしていく。

道徳の授業を要として教育活動全体で道徳性の向上を図り、成果を上げている。道徳授業公開も新しい題材を実践するよい機会となっている。

生徒が安心して相談できる教員としての資質を高める研修をさらに強化し、不安を抱える生徒、相談を必要とする生徒の発見に努めたい。

今年度は行事の中止を余儀なくされたが、工夫して生徒の所属感を高めてきたことで、一定の成果を上げた。来年度もさらに工夫する。

感染症対策で生徒の活動が制限される中、クラスや学年の活動、生徒会活動などの自治活動を意識的にすすめ、一定の成果を上げている。

学校・学年便り、学校ホームページ等での情報発信が評価されている。生徒の理解、保護者の期待に応えられるよう滞りなく進めていきたい。

生徒や保護者からの相談に丁寧に対応している。今後も個や家庭に応じた相談に力を入れ生徒や保護者に適切に対応していきたい。

感染症対策の中、大霜月祭のビデオ公開日等を設定して工夫してきた。生徒の個人情報に配慮した上で、今後も公開方法を工夫していきたい。

今年度はボランティア等の参加は見合わせたが、地域学習や絆ネットワーク活動などを通じ、地域との関わりを意識させることができた。

全体的には肯定的であるが厳しい意見・要望をいただくことももある。個々にきめ細やかに対応し、信頼される教育活動を展開していきたい。

学習コンテストなどの取り組みが一定の成果を上げているが、今後はタブレットPCの活用など、さらなる基礎基本の定着に取り組んでいく。

保護者の「わからない」の回答多い。授業評価が授業改善に反映されていることを、保護者にも可視化できるよう情報発信を工夫をしたい。

各学年のキャリア教育が定着している。進学指導に偏ることなく、3年間の計画的・継続的な進路指導を実践し、さらに充実させたい。

今年度は1年生が実感を得られなかったが、3年間を見通した計画も確立しており地域理解の意識も高い。今後も積極的に推進していきたい。

JRCの行動目標「気づき、考え、実行する」が定着してきている。活動に対する意識も高まっている。今後も活動を推進・発展させていきたい。